

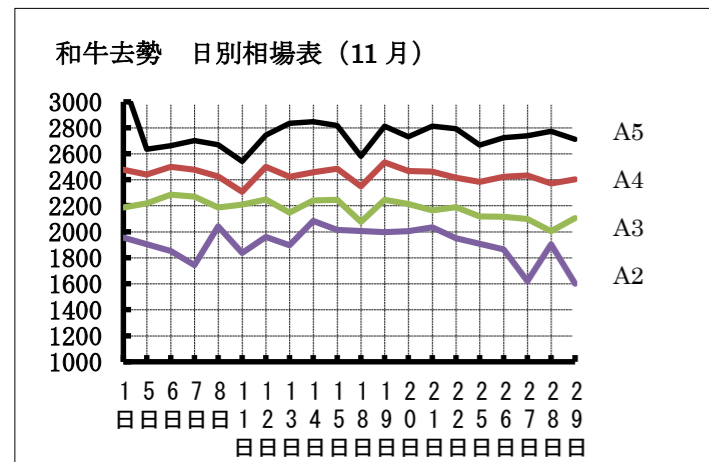
月刊しばうら

2019年 12月号

大動物事業部

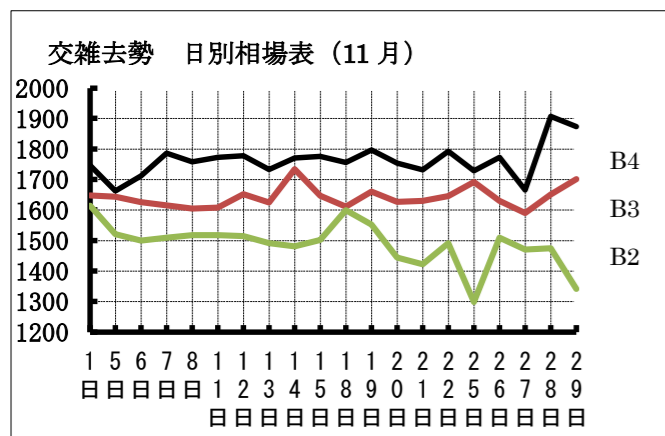
<11月の相場動向>

11月の牛枝肉相場は、和牛去勢 A5 が前月比 103 円高の 2,793 円（前年同月比 144 円安）、同 A4 が 63 円高の 2,443 円（同 210 円安）、同 A3 が 5 円安の 2,175 円（同 286 円安）、同 A2 が 13 円安の 1,919 円（同 278 円安）、交雑種は去勢 B4 が 35 円高の 1,763 円（同 32 円安）、B3 が 32 円高の 1,635 円（同 39 円安）、B2 が 15 円高の 1,490 円（同 51 円安）となった。末端の需要が依然として鈍いなかで上場頭数がこの時期なりに増えたため、枝肉の仕上がりの良し悪しで販売単価の格差が顕著にあらわれる相場展開となった。



和牛去勢 (月平均)

A5	2,793 円	(前年同月比 95.1%)	(前月比 103.8%)
A4	2,443 円	(" 92.1%)	(" 102.6%)
A3	2,175 円	(" 88.4%)	(" 99.8%)
A2	1,919 円	(" 87.3%)	(" 99.3%)



交雑去勢 (月平均)

B4	1,763 円	(前年同月比 98.2%)	(前月比 102.0%)
B3	1,635 円	(" 97.7%)	(" 102.0%)
B3	1,635 円	(" 96.7%)	(" 101.0%)

乳牛去勢 (月平均)

B3	上場なし		
B2	950 円	(前年同月比 91.5%)	(前月比 95.8%)

<12月の牛肉輸入量予測>

財務省の貿易統計によると、10月の輸入牛肉通関量は、前年同月比 7.7%増の 5 万 5,360 t で、内訳としてチルドは 7.6%増の 2 万 5,360 t、フローゼンは 7.7%増の 2 万 9,875 t だった。チルドは通関が 5 週分あったことで前年を上回り、フローゼンは米国産バラ系を絞ったもののカナダ産のバラ系や豪州産トリミング等の好調な需要から増加となり前年を上回った。農畜産業振興機構の予測による 12 月の牛肉輸入数量は、前年比 7.4%減の 4 万 4,100t と予測している。チルドは 3.6%減の同 2 万 2,000t。フローゼンは豪州の現地相場高に加え、日米 TAG 発行を見据え通関を控える動きがあることなどから、10.7%減の 2 万 2,100 t と前年を下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		10月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	11,490	11,067	103.8%
	米国	11,844	10,942	108.2%
	その他	2,151	1,670	128.8%
	合計	25,485	23,679	107.6%
フローゼン	豪州	15,784	14,055	112.3%
	米国	9,125	10,622	85.9%
	その他	4,966	3,064	162.1%
	合計	29,875	27,741	107.7%

単位：t

出典：食肉速報

<12月の全国出荷頭数予測>

家畜改良センターによる 10 月末の全国牛飼養頭数は 389 万 2,209 頭で微増（前年同月比 0.8%増）となり、内訳をみると和牛は 169 万 2,178 頭（同 2.5%増）、交雑種は 49 万 6,452 頭（同 2.8%減）、ホルスタイン種は雄（去勢）が 26 万 7,533 頭（同 4.2%減）、雌は 135 万 7,744 頭（同 0.8%増）となった。引き続き和牛は増加傾向、交雑種及びホルスタイン種は減少傾向となっている。

農畜産業振興機構によると、12 月の牛出荷頭数は前年比 5.7%増の 10 万 2,000 頭と予測している。品種別にみると和牛は 10.1%増の 5 万 0,000 頭、交雑種は 1.9%増の 2 万 2,800 頭、乳用種は 0.5%増の 2 万 7,500 頭といずれの品種においても増加と予測している。東京食肉市場の 12 月のと畜頭数は 8,100 頭を予定しています。

<12月の牛枝肉相場見通し>

例年であれば 11 月の後半以降は相場の上昇が期待できる時期ではあるが、和牛の出荷頭数が回復基調にあることに加え、増税等の影響もあり末端の販売状況が鈍いため、相場の上昇についてもピークは短期間と予測される。交雑については堅調な相場が期待されるものの、和牛は一部の産地・銘柄を除き枝肉の仕上がりの良し悪しによって、同等級内であっても価格差が広がる相場展開が予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,750～2,850	B4	1,750～1,800
A4	2,350～2,450	B3	1,650～1,700
A3	2,150～2,250	B2	1,450～1,550
A2	1,950～2,050		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,200		
B2	1,000～1,100		

小動物事業部

10月の全国と畜頭数は、前年同月比 2.3%減の 146 万 5,855 頭と前年同月より減少した。豚卸売価格は前年同月より 10.1%高の 511 円、東京は 7.7%高の 502 円、大阪は 12.2%高の 487 円となった。また、10月の豚肉通関数量は 8 万 4,007t（前年同月比 0.1%減）と前年同月から微減となった。前月比では 7.4%増加。内訳はチルドが 3 万 3,712 t（2.7%増）増加した一方、フローゼンは 4 万 7,295t（2.1%減）と減少した。

2018-2019年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
10	82,053	83,979	18,178	147,729	81,863	85,761
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	83,315	21,828	192,531	76,348	77,736
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
9	68,819	78,125	20,351	197,854	69,025	80,399
	79,112	83,940	20,128	198,840	79,247	82,954
比	96%	100%	111%	135%	97%	97%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

10月豚肉通関実績						単位：t、%		
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比			
アメリカ	19,633	111.8	デンマーク	9,727	95.4			
カナダ	16,238	94.2	スペイン	9,858	103.2			
メキシコ	839	87.4	メキシコ	7,902	93.6			
			アメリカ	3,931	89.5			
			カナダ	3,688	109.3			
合計	36,712	102.7		47,295	97.9			

<11月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	66,900	466	446	1,009
5日	75,200	459	436	992
6日	73,500	470	448	1,002
7日	72,200	449	429	885
8日	69,900	432	415	1,045
11日	68,100	427	411	849
12日	68,600	427	420	896
平均	70,628/日			954/日

連休明けで稼働日が 1 日少なかったことから、週明けの 5 日は全国と畜頭数は 7 万 5,200 頭となり、その後も 7 万頭台が続いた。連休後の在庫補充はすぐに終わり、7 日には 450 円を割り込み徐々に軟調な展開となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
13日	69,200	445	443	670
14日	69,800	445	423	871
15日	67,700	443	437	1,050
18日	67,800	500	459	696
19日	69,100	475	454	982
20日	69,200	460	441	815
平均	68,800/日			847/日

全国と畜頭数は 6 万頭後半で推移した。この時期としては多くはないが安定した出荷頭数が続いた。

相場は 18 日に上物 500 円となったがその後は軟調な展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	67,500	524	505	1,065
22日	74,800	522	499	832
25日	71,300	527	508	853
26日	70,800	571	486	824
27日	67,700	532	498	970
28日	65,100	499	476	706
29日	68,400	459	452	886
平均	68,457/日			876/日

師走を前に関東でも本格的な冬の気配が漂い始め年末に向けての手当が相場にも表れ始まる時期だが相場は 450 円前後の相場状況が続いた。

<12月の豚枝肉相場見通し>

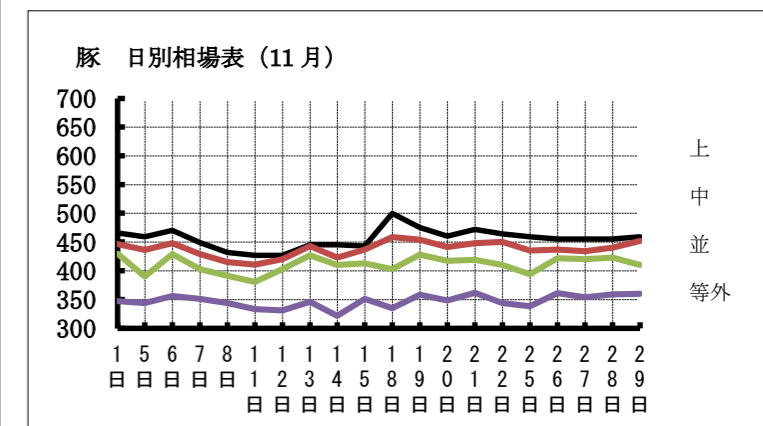
農林水産省による 12 月の肉豚出荷予測では 146 万 2,000 頭（前年比 100.7%）と予測している。当市場の 12 月集荷予定頭数は 1 万 8,500 頭、1 日あたりでは約 881 頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると 12 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 5,700t（同 103.5%）、内訳はチルドが 3 万 4,900t（同 98.7%）、フローゼンは 4 万 800t（同 108%）と予測。

冷蔵輸入量は、輸入業者の買い付け時の現地の相場高などにより、前年同月の輸入量が多かった 12 月はわずかに前年同月を下回ると予測する。なお、3 ヶ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。冷凍品輸入量は、前年同月の輸入量が TPP11 及び日 EU・EPA の発効を見据えた通関保留により少なかったことから前年同月をかなりの程度上回ると予測する。なお、3 ヶ月平均では、前年同月をわずかに上回ると予測する。

12 月は本格的な冷え込みにより、いよいよ鍋シーズンが本番を迎える。また、忘年会もあり、外食需要も含めてバラなどのスライス商材の需要は年末に向けて強まることが期待される。また、例年同様にロイン系の荷動き良化にも期待がかかるが、今年は輸入物へシフト傾向があり昨年のような荷動きは期待できない

以上のことから当市場の上物。平均価格は 500 円前後、中物平均価格 480 円前後の展開と予測する



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

出荷者の皆様へ

PEEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。